

会 議 記 録

作成部局課名 丸子地域自治センター 地域振興課

開催日	平成 21 年 5 月 22 日 (金曜日)	開催時刻	13 時 30 分から 15 時 30 分
会議名	丸子地域協議会 (平成 21 年度第 2 回)		
出席委員	浅倉委員、生田委員、大森委員、片桐委員、木下委員、倉沢委員、甲田委員、笹井委員、笹沢委員、滝沢(俊)委員、滝沢(浩)委員、武井委員、竹花委員、成澤(啓)委員、成澤(み)委員、本間委員、宮坂委員、村松委員 【欠席】土屋委員、柳原委員		
市側出席者	関丸子地域自治センター長、大沢政策企画局長、佐藤センター次長兼地域振興課長、伊藤交流・文化施設建設準備室長、大平地域政策担当係長、中村地域政策担当主査 笠原丸子警察署長		

会議次第

1 開会 (佐藤センター次長)

上田市新型インフルエンザ対策本部からお願い (関センター長)

2 会長あいさつ (片桐会長)

合併して 3 年経過、協議会もまもなく 3 年目を迎えますが、皆様からのご指摘のようになかなかその機能を十分に発揮しているとはいえないという面もあり、会議の運営に苦慮している点もありますが、残された任期今年度が最後ですけれども、この協議会が今後どうしたらいいか市へ意見として提出できればと考えているところです。本日の会議事項、調査研究事項等大変多くの議題があるわけですけれども、よろしくご審議いただきますようお願いいたします。

長野県警察の組織再編整備計画 (案) について (笠原丸子警察署長)

- ・ 長野県警察組織再編整備計画案の概要にそって骨子を説明。
- ・ 「長野県警察組織のあり方を考える懇話会」で民間の方 8 名を委嘱し 8 回の会議を開き意見をいただいた。これを受けて長野県では 5 月 12 日に組織の見直し案を示した。
- ・ 非常に捜査に手間がかかる事案が多く、しっかりとした治安が保てないという現状。昨年の県民の世論調査でも治安が悪くなったという意見が約 60%、さらに制服の警察官が街頭に出てきてほしい、パトロールをしてほしいという意見が非常に多い。警察の管轄区域と市町村の管轄区域が異なっている。
- ・ 警察官の数は、上田 170 人、丸子 39 人、望月の東御市に入った北御牧の駐在が 2 人、この数を上田市に統合して 200 人くらいの体勢にしようという案。丸子警察署は大型交番にする。運転免許証の業務は当面継続していく。パトロールの要員が確保できる。
- ・ スケジュールは、5 月 12 日に公表し 1 か月意見をいただき練り直し、9 月頃には原案を作成 12 月県会に提出していきたい。6 月 2 日には警察本部による住民説明会を開催する予定。よろしくお願いをしたい。

資料：長野県警察組織再編整備計画案の概要、再編整備計画案の概要の詳細

主な質疑等の内容

委員) 知らない人が大勢いる。6月2日の説明会には全市民を集めて説明するのは無理だと思う。丸子地域の皆さんにどう知らせるのか。今更、陳情・反対意見を出しても、実際は効果ないのでは。

署長) 丸子テレビ、丸子有線などにもご協力いただき周知する。説明会の要望があれば出向いていきたい。人員についての要望は良いのではないか。

委員) 我々のそれぞれの地域での安全が、新しい体制でも確保されればそれで良い。そうぜひ取り組んでいただきたい。

委員) 人員が増えると考えれば治安は今迄以上に良くなると思うが、何か問題が起きたときに、本部の方から応援が来るより、地元にいれば迅速に動いて捕まえるのも期待できる。丸子署がなくなると、所長、次長がいなくなると、地元のイベント等に決定権をもった方がいなくなるとどうなるか。

署長) 仮に交番になったときには権限のあるものが座る予定。上田の街の中にある小さな交番とは違うし、意思決定ができるものが座る予定。また、どれくらいの人員がいるかは、警察の本部で詰めている。

委員) 説明会の場所と時間は。

署長) 6月2日(火曜日)1800予定 丸子文化会館小ホール

6月4日が望月、5日が南佐久の順番。

3 会議事項

(1) JT開発地における交流・文化施設のありかた中間報告について(交流・文化施設建設準備室)

政策企画局長) 合併し早3年を経過、地域を大事にしていくという姿勢は変わってない。地域協議会の皆さんにいろんな面でのご意見をいただければありがたい。いろんな課題、特に産院の問題、資源循環型施設の問題等、地域協議会のご協力を頂きながらできるだけ方向性を早いうちに出していきたい。今回は、現市民会館の移転を前提にした交流・文化施設について、状況・考え方等説明しご意見等をいただきたい。

室長) 交流・文化施設整備について、検討委員から報告を受けた内容等について説明。

[これまでの検討経過]

平成20年度交流・文化施設等整備検討委員会、市民アンケート調査の実施、懇談会を開催し、市民の意見やご要望をお聞きしながら検討を進めてきた。去る3月31日に中間報告がまとめられ検討委員会から提出いただいた。

[中間報告の概要]

- ・ はじめに 交流・文化施設が未来の子供達の為に役立てる願いが込められている。上田市中心市街地の活性化、上田市全体の発展に繋がる新たな文化の拠点として取り組むべきとの考えかたが述べられている。
- ・ 2ページ 理念と目標
- ・ 3・4ページ 文化創造と都市創造
- ・ 5ページ 交流・文化施設の整備方針

- ・ 6ページ、7ページ 各施設機能の具体的なイメージ
- ・ 8ページ 施設全体のイメージ
- ・ 9ページ 各施設の繋がりをイメージ例
- ・ 10ページ 運営・管理の方向性
- ・ 11ページ 運営・管理経費について
- ・ 12ページ 建設にあたっての考えかた

5月26日の市民公聴会には、もう少し詳しく説明する予定。

[今後の対応] 中間報告の内容を広く市民にお知らせし、寄せられた市民の意見や要望については検討委員会に報告し、最終報告に向けた検討資料としていただくと共に、市で整備計画する際の参考資料としていきたい。中間報告の内容は、広報うえだ5月1日号へ掲載することを始め、上田市のホームページ、行政チャンネルで発信している。また、市民の皆さんに直接説明しご意見をお聞きするために、「交流・文化施設のありかた市民公聴会」を市内各地域で8回開催し意見もいただいている。その他「ときめきのまち出前講座」でも積極的な情報提供、意見交換も行っていきたい。

資料1: J T開発地における交流・文化施設のありかた中間報告、市民公聴会資料

・主な質疑等の内容

(委員) 機能を中央に集めるのではなく、既存施設に機能を分担させる必要がある。

例えば、美術館は既存施設でそれ専用にするとか、その上で必要な機能を充実させていくという議論が必要。

(室長) 上田市民会館の移転改築を前提としながら整備検討委員会では、文化的機能を兼ね備え市民緑地・広場を含め、様々な議論をしていただいた。各地域にさまざまな文化施設があり、丸子地域にとっても丸子文化会館が文化芸術の拠点としてその役割を果たしている。合併して、全市的な文化の拠点となる大ホール等の施設整備を進めていきたいという考え方。地域にあるいくつかの施設(丸子セレスホール、上田文化会館、上田創造館、信州国際音楽村こだまホール)は小ホールから中規模ホールの役割を担っている。大ホールでないと出来にくい、例えば、フルオーケストラコンサートの公演事業、あるいは有名アーティストの公演事業等ができる規模の施設が必要ではないかというご意見を、市民アンケートや検討委員会等でも寄せられた。しかし整備するにあたり、各地域の文化施設も大事にしていこうという考えかたで、それぞれの施設の役割分担を担いつつ事業展開をしていきたい。いただいたご意見については、今後検討委員会での貴重な意見として参考にさせていただきます。

(委員) 東信濃から集まるような施設とは。

(室長) 整備方針の中には、東信濃地域に広がる文化圏のシンボルとなる施設という表現をしている。上田市民にとって中核となる施設であることが前提だが、上田市に交流・文化施設を作ることによって、交流人口が拡大され全体の発展に繋がっていく、そういう願いがこめられている。

(2) わがまち魅力アップ応援事業について(地域振興課)

・審査についての課題・意見交換

審査についての課題・反省点について皆さんから出された意見が資料2にまとめてある。課題を整理したいので意見交換をお願いしたい。

(委員) 審査基準の面で大変迷ったという意見があった。

(委員) 小委員会を作って整理し提案していただいたほうがよい。1~2回で集約して提案していただけたらどうか。

(委員) 正副会長、事務局でまとめていただきたい。

(委員) 例えば他の協議会はどういう事業を採択したのかわからない。印象とすれば丸子は厳しかった。もう少し統一しないと審査で困るのではないか。

資料：わがまち魅力アップ応援事業・審査についての課題・反省点

決定事項等

- ・ 正副会長・事務局で課題について整理し提案する。
- ・ 上田市全体の採択状況については資料を用意する。

・追加募集について

(事務局) 平成21年度事業は106件の応募で93件採択。この結果を受け若干の予算があるということから、全市的な活動をしている事業の皆さんを対象に再募集する。今回再募集するのは「特色あるまちづくり応援事業」で市民活動団体が対象。募集期間は6月1日から30日までの1か月間。所定申込書により「まちづくり協働課」へ直接提出。地域協議会の正副会長会において選考する。募集の案内は、ホームページ、6月1日号の広報うえだでお知らせする。

(課長) 申込団体の気持ちをどうくみ取っていくか、提案あった段階で考え方を事務局で相談させていただき、ポイントを絞り込んだらどうかと考えている。時間はかかると思うが取りまとめていきたい。そば作り事業について、丸子では不採択になった事業が上田地域の自治会で採択されている。ここでは前回グループ提案されたが不採択となったが、2年目に自治会提案で採択された経過ある。

(課長) 今回の追加募集は上田全域を対象という前提で、地域の活動は対象にはならないが、採択されなかった団体も全市対象で追加募集に手を挙げられることも考えられる。

資料：平成21年度「わがまち魅力アップ応援事業」追加募集のお知らせ

・主な質疑等の内容

(委員) 予算が余っているから追加募集するということだが、地域予算は残してもよいのではないか。無理やり予算を使う必要ない。

・その他

6月1日号広報うえだで追加募集の記事にあわせ、平成20年度の事業実績の報告「箱山城・桜ロード整備事業」・平成21年度の新たな事業として「一本木公園整備事業」のご紹介等も予定している。6月16日発行予定の地域自治センターだよりにおいても事業の紹介をする。また、同号で丸子地域協議会の委員の氏名も紹介する。

(3) 地域協議会の運営について (地域振興課)

・意見交換

(会長) この問題は皆さんに何回もお願いして意見を出していただいているがなかなか思うようにいかない。合併して3年、合併時の不安解消、一体感の醸成は進んできている。地域内分権が思うように進まない現状、必要性、会議の持ち方が課題。旧上田は自治会連合会がしっかりしている。地域協議会の機能難しい。依田川リバーフロント市民協働事業は丸子町がやり残した事業。

(課長) 地域協議会のあり方、地域全体の発展策、地域予算の使用法、地域協議会の役割の強化策について課題として取り組もうと進んできている。今後、4億9千万の地域予算をどう使っていくか、具体的に焦点を絞っていけば、もう少し議論が活発するのではないかと。7つある地域まちづくり方針にもう少し焦点を絞って次にやるべき課題について話しあっていく中で、具体的な地域協議会の役割というのが見えてくるのではないかと。

(委員) 我々も地域協議会の機能が明瞭化されてないと感じている。このままだと、また次の協議会でそういう蒸し返しが必ず起こると懸念される。具体的にどう運用していくか、どう活用していくかを議論してまとめていくということを要望したい。

(会長) スタートした頃は手探りの状況で、私共も残されたが任期が1年を切っている。今年度中に協議会の今後のあり方、考えかたの意見を出して、今後の協議会の参考にしていけたらと思う。忌憚のない意見を出していただきたい。

(委員) どう持っていくか明確しにくい。他の機関に意見を聞くとか、なんらかの活動ができる体制を考えてみるのも必要ではないかと。

(委員) 子ども、お年寄りの意見を聞く場があっても良いのではないかと。

(委員) まちづくり方針7項目の分科会を作って煮詰めた話しをして、住み良い地域になるよう具体化したほうが良い。

(課長) 丸子の地域まちづくり方針7項目について平成21年度までに取り組んでいる内容について参考資料としてまとめた。それを踏まえて、更にどうするかご意見をいただきたい。

(委員) 地域協議会のありかたについて「地域まちづくり方針」を実現する為に具体的な仕組みを考えて協議会でやっていきたい。違う団体との役割分担をどうするかについてはここだけで考えても出てくることではないので、こちらで新しい仕組みを考えた上で自治会等も含めて意見交換というかたちをとっていただきたい。

決定事項等

・課題・反省点、ただ今出た意見等を考慮し、今後グループ討議のなかでもう少し協議会のあり方について2グループで話しあっていく。

4 調査研究事項について

(1) 全体会議

「依田川リバーフロント市民協働事業の準備会について」準備会の構成について報告

(課長) 丸子地域自治会長連絡会会長・倉島陽一さん、拠点地域の御嶽堂自治会会長の滝沢時和さん、依田川水域で長年に渡り活動をしているシナノケンシ監査室長・中矢浩司さん、

爆水 RUN 実行委員会の金子和夫さん、まちづくり代表で丸子地域協議会委員の成澤啓輔さんの5名にお願いして準備会を立ち上げる。秋には住民の皆さんに集まっていただき事業展開をしていきたい。

「カネボウ跡地・旧食堂棟活用専門委員会について」委員募集

(課長)本年度中に方向性を定める予定。どのような活用ができるのか探るという意味で専門委員会を立ち上げたい。手を上げていただきたい。

具体的な動きとして、1966年式オート三輪消防車復活プロジェクトのキックオフの会議が5月29日に旧カネボウ丸子工場の食堂棟で開かれる予定。

(2)グループ討議は「なし」

(課長)資料の説明。地域予算の平成22年度版を作っていきたい。上田市第一次総合計画が平成27年に終了する。地域的な手持ち予算をなくす方向で、使いきる方策も考えていかなければならない。本日は時間ないが、今後のグループ討議で話していただきたい。

別紙資料：平成21年度地域予算の概要、上田市地域振興事業基金の活用方針

5. その他

・図書館学習会について

(課長)図書館について考える講座を7回開催。

- ・1回「市民がつくる図書館」6月27日(土)丸子文化会館で開催予定。
- ・真田の図書館建設が終わった後は、丸子の図書館を建設していく予定で、図書館についての認識を深めるためにも積極的に参加をしていただきたい。

別紙資料：図書館学習会について

・上田市表彰審査委員会委員の推薦について

(会長)上田市秘書課から依頼で、上田市表彰審査委員会の委員1名推薦していただきたい。市の功労表彰、市のシンボル(市花、市木、イメージキャラクター)の選考に関する事項について調査審議するという内容。

委員)竹花委員を推薦。

決定事項

- ・上田市表彰審査委員会委員として竹花勝美委員を丸子地域協議会から推薦。

・今後の日程について

・次回地域協議会の日程

6月26(金曜日)13時30分～丸子地域自治センター集合

(課長)現場を見ることが大切だという意見もあった。次回は、地域予算を使ってはどうかという現地を見ていただきたい。依田川リバーフロントの総合グランド周辺、霊泉寺の徳寿荘の跡地、大塩の陽寿荘の跡地、大塩館の跡地を視察した後、鹿教湯温泉交流センターに上り鹿教湯地域の問題等について一緒に考えて頂けたらと考えている。

6. 閉会